

# 担い手に続き集落座談会を開催

八尾市

八尾市農とみどりの振興課と農業委員会(齊藤暁会長)は9月21日から28日にかけて、5地区で集落座談会を開いた。

座談会では地域計画の策定目的、昨年12月の担い手座談会と今年6月に行った地権者アンケートの結果を説明。その後、

班に分かれ①農業の現状と課題と②その解決策について意見交換した。

主な意見としては①担い手が不足②農道が狭く1筆の農地も小さい③用水を井戸水に頼るが井戸が老朽化している④丘陵地では転作作物として花木や植木

を栽培したが大木となり、農地に復元するには高額な費用が必要⑤農業では儲からない⑥現在の60〜70歳代の農家は自家消費でも農業を続けるが、次の世代は農業を続けるか不明、などの意見があった。

その対策として①農道やほ場を整備し、他所からの新規就農者を受け入れる。しかし、それには一定のルールが必要。また、全員がほ場整備に賛成するわけ

ではないため、地域のまとめ役が必要②井戸を整備する③スマート農業を導入して人手不足に対応する④農業生産法人の誘致や集落営農組織の育成⑤丘陵地の植木は里山として整備し、里山公園として管理する。などが示された。

今後、市が意見交換の内容をとりまとめ、12月頃に再度、座談会を開催し、内容の確認を行う予定である。(藤岡)



課題と対策を意見交換した(八尾市)

# 機械更新費用等が課題

阪南市

阪南市河川農水課と農業委員会(相良修一郎会長)は9月18日に箱作西地区の地域計画の策定に係る集落座談会を開催した。市が座談会の目的や進め方を話した後、地域計画の概要及び趣旨を説明。併せて前年度末に実施した農地利用の意向に関する調査の結果を報告した。

また、府泉州農と緑の総合事務所から座談会で話し合われた内容が地域計画としてどのようにな反映されるのか他市の地域計画案を示して補足説明をした。その後、地域の現状や課題等について話し合いを行った。

座談会に参加した農家からは、①米を作っても、トラクター・コンバイン等の機械経費が多大で採算が合わないため後継者に農業を継がせられない。②コンバインなどの機械が故障したら農業を辞める農家が増えている。③労働に見合う対価が得られない。④パイプラインは整備されているが農用水として利用している一部の池が貯水できない状況。改修したいが改修費用の地元負担の課題がある。⑤農地を借りたい人がいれば地域として受け入れられる。⑥先祖から受け継いだ土地を放棄したくない。⑦この地区は住宅が少ないので農業はしやすい。などの意見が出された。

解決策として農機の共同購入・共同利用の案も出されたが

# 農業経営収入保険

締め切り12月末まで

農業者自らが生産した農産物の販売収入全体を補償する公的な保険制度で、青色申告を行う農業者(個人・法人)であれば加入できます。

自然災害や市場価格の下落、けが・病気など、農業者の経営努力では避けられない様々なリスクに対応しています。

「積立方式1割+保険方式8割の9割補償」が基本ですが、初年度の掛金等支出を抑えるた

最後に、市は座談会で出された意見を踏まえて地域計画案としてとりまとめることを参加者に説明した。

その後、参加した農家から本

め、「保険方式のみの9割補償」も選択できるようになりました。

近年、異常気象とも言える自然災害が各地で起こる中、災害リスクへの備えの一つとして、収入保険を選択する農業者は年々増加しています。そして、様々なリスクに対応ができることから、加入者の約3人に1人が保険金等を受取り、安定した農業経営に役立っています。

収入保険の加入をお考えの方へ

令和7年のお申込み期間は12月末日までです。

【問い合わせ先】大阪府農業共同組合/NOSA-1大阪

【本所】大阪府中央区農人橋2-1-33 06(6941)8736

【北部支所】茨木市西駅前町10-20 072(631)7737

【南部支所】和泉市北田中町215 0725(92)3313

【ホームページ】<http://nosai-osaka.com>

<http://nosai-osaka.com>

<http://nosai-osaka.com>

